

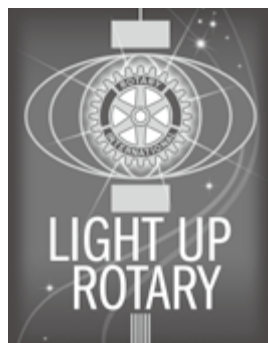
2014-15年度 R I テーマ



ゲイリー C.K. ホアン

2014-15年度国際ロータリー会長

2014-15年度 国際ロータリーのテーマ



**ロータリーに
輝きを**

強調事項

- ・地域社会でロータリーの存在感を高めること
- ・会員増強
- ・ポリオ撲滅
- ・クラブの強化
- ・ロータリーデーの実施

ロータリー歴

RI 会長（2014-15 年度）

ロータリー財団管理委員（2004-06 年度）

RI 副会長（2001-02 年度）

RI 理事（2000-01 年度）

ロータリーは、誰にでも何かをもたらしてくれます。ロータリアンは、1世紀以上にわたり、奉仕することを目的として、世界中の地域社会で集ってきました。創立以来、大勢のロータリアンが、ローターアクト、インターアクト、ロータリー地域社会共同隊、青少年交換や、その他多くのプログラムへの参加を通じて、ロータリーの奉仕の喜びを発見してきました。

私たちは皆、ロータリーファミリーの一員であり、ロータリーの奉仕の経験から多くを得ています。ロータリーを通じて私たちは、友情を育み、地元貢献し、また、より良く、より安全で健康な世界を実現するために力を尽くしてきました。そして、真に国際的なボランティアのネットワークを形づくっただけでなく、人々が互いの違いを乗り越えて手をつなげば、驚くべきことが達成できることを、実証してきました。

ロータリアンが大切にしてきた考え方や価値観の多くは、ロータリーに限られたものではありません。私自身がロータリーに深く共鳴するのも、ロータリーの価値観に、奉仕や責任の重視、家族や他者の尊重といった中華的価値観と重なるところがあるからだと思います。

ですからロータリーの奉仕において、私はよく孔子の教えを指針とします。孔子は、私にとって「元祖ロータリアン」だと言ってもいいかもしれません。ポール・ハリスが誕生する2,000年以上前、孔子はこう述べています：

まず自分の行いを正しくし、次に家庭を整え、次に国家を治めてこそ、天下が平和となる。

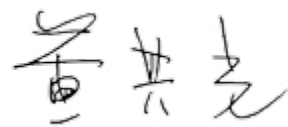
ロータリアンは、超我の奉仕の理念によって自らを律しますが、奉仕において高い目標を掲げるためには、ロータリー自体に対する手入りを怠らず、ロータリーファミリーを拡大していく必要があります。

2014-15年度には、ロータリーの奉仕を人びとと分かちあい、クラブをより強力なものとし、地域社会でロータリーの存在感を高めることで、「ロータリーに輝きを」もたらしていただけるようお願いいたします。

本ロータリー年度、新会員を引き付けるとともに、現会員を維持し、会員数130万人という目標を達成することによって、**ロータリーを輝かせてください**。そのためには、新しいアプローチとアイデアをもって会員増強に取り組まなければなりません。例えば、地元で「ロータリーデー」を開催してロータリーを知ってもらいましょう。ロータリーはそれ自体がファミリーであり、家族のためのものですから、配偶者をはじめご家族に入会を検討するよう勧めるとともに、青少年交換の元参加者や財団学友にも声をかけましょう。クラブの現状を直視して、新会員の入会理由と、既存会員の退会理由を検討しましょう。そして、多忙な職業人やまだ幼い子供がいる人たちにとって、ロータリーを魅力的で興味をそそるものにするために何をできるか考えてみましょう。

さらには、ポリオを撲滅して「**ロータリーに輝きを**」もたらし、歴史に1ページを刻みましょう。ロータリアンのこれまでの勢いをもってすれば、今後数年以内にポリオを世界からなくすことは、明らかに可能です。ポリオ撲滅を実現することの重要性を、今こそ、ご友人、同僚、地元の議員や政府関係者に伝えてください。ポリオプラス基金に寄付し、ほかの方々にもそれを勧めてください。ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの新しいチャレンジに応えることで、ロータリアンの資金を3倍生かすことができます。この史上最大の、公共・民間のパートナーシップに、ぜひともご参加いただき、ポリオない世界が実現した際には、世界中の人たちと誇りと喜びを分かち合いましょう。

2014-15年度、34,000を超える地域社会で、クラブを強化し、「**ロータリーに輝きを**」もたらせば、ロータリーの奉仕で世界に輝きをもたらすことができるでしょう。



ゲイリー C.K. ホアン
2014-15年度 国際ロータリー会長

国際協議会での RI 会長の挨拶

皆さん、おはようございます。你好!

もう一度、全員で一緒に。你好!

皆さん、中国語がお上手ですね。これなら台湾や中国に旅行しても大丈夫そうです。皆さんの努力に全員で拍手を送りましょう。

朋友ロータリアンの皆さん、2014年ロータリー国際協議会によろこそ!この素晴らしい年度の門出にあたり、皆さんも心を躍らせていることでしょう。

今朝、私は早起きしてテレビのニュースを見ておりました。ニュースを見るたびに、助けを必要としている人びとが世界にいかに大勢いるかを思い知らされます。

しかし本日は、世界中から537人の方々にこうしてお集まりいただきました。皆さんとご一緒に、こうした問題について考察し、どう解決できるかを考えていきたいと思います。私たちが月曜の早朝からここサンディエゴに集まっているのは、このためです。ここで行動を開始し、悪いニュースを良いニュースに変える。こうした見方で、次ロータリー年度の私たちの仕事をとらえるのも良いのではないのでしょうか。

私たちの仕事は、世界のニュースを少しずつ、より良く、より明るく、希望にあふれたものとする事です。また、良いニュースを生み出すだけでなく、これらの良いニュースが報道されるようにすることも、私たちの仕事です。今ロータリー年度は誠に素晴らしい年度ですが、来年度、つまり私たちの年度は、さらに上を目指したいと考えております。来年度は、ロータリー創立110周年です。

私たちは皆、ロータリーを誇りとしています。ロータリーが世界に大きな影響を生み出せる団体であってほしいと願っています。もちろん、偉大なことは何もせずに自ずと起きるわけではなく、勤勉な努力、活発なクラブ、そしてロータリーを愛するロータリアンがあって始めて可能となります。

長年、会員増強が話題となっていますが、次年度が終わるまでに全世界の会員数を130万人にするという目標については、皆さんもよくご存じだと思います。この目標については、今週多くの話し合いが行われる予定です。また、ロータリーにもっと若い人びとや女性を迎え入れることの重要性についても話し合います。この部屋を見回しますと、美男美女がおそろいですが、この中で何人の方がロータリアンでしょうか。ロータリアンではない配偶者の方は、何人おられますか?

ここで、一つ提案があります。この部屋におられる方全員が、ロータリアンであるべきだと思うのです。ロータリアンは皆、自分の配偶者をロータリー入会へと誘うべきです。ロータリーを家族全員のものとしていただきたいのです。このアイデアを台湾で実践し始めた時のことをお話ししましょう。私たちは、自分よりも妻のほうが友達づきあいが多くことに気付きました。妻がロータリーに入会すれば、友人たちをロータリーに誘ってくれる。それで、その友人はロータリーが男性だけの団体ではないことを知り、「じゃあ、入会するわ!」となるわけです。クラブに男女両会員がいれば、活気が高まり、活動も活発になります。会員数がただ2倍になるのではなく、それ以上の恩恵が生まれ、奉仕のレベルもずっと向上します。皆さん全員がやってみるべきだと、私は考えています。

私は『言い訳ではなく、解決策を見つけよう』という題の本を中国語で執筆いたしましたが、誰もがこれを実践する必要があると考えています。「なぜできないか」を説明するのではなく、正しい方法を見つけて行動に移すことが大切です。

活気あるクラブを築くために、私たちが率先する必要があります。そのためには、まず新会員を迎え入れることから始めようではありませんか。

ロータリー財団のためにイニシアチブをとることも必要です。そのためには、まず自分で寄付することから始めてみましょう。ロータリー財団は、私たちロータリアンの財団です。ロータリーでは全員が財団を利用できますが、そのためには全員が財団を支援する必要があるのです。

皆さんは、ロータリアンを指導し、イニシアチブを発揮する方法を知っているリーダーです。仕事をほかのロータリアンに押し付けて、自分は何もしないという方などここにはおられないでしょう。同様に、人にはロータリー財団への寄付をお願いする一方で、自分のお金は銀行に残したまま、という方はおられないでしょう。

ロータリーのリーダーでありたいと思うなら、模範を示して導く必要があるのです。

ロン・バートン会長が、今年度のガバナー全員にロータリー財団への寄付をお願いし、「ファーストクラス(一番の年度)」となることを目指したのは、このためです。そして彼らは見事にこれを実現して、「ファーストクラス」としての確固たる地位を築きました。

バートン会長はこれを大変な誇りとしておられます。そして、昨年の協議会の後、会長は私に、次のようなチャレンジを投げかけてきました。「ゲイリー、君には、今年度の私たちの記録を打ち破ってほしい。あなたの年度のガバナーが私の年度よりもさらに多くの寄付を寄せてくださるよう、がんばってほしい」、と。

私は台湾人です。ご存じの方もおられるかもしれませんが、台湾人はとても競争心が強いのです。ですから私は、「オッケー!」と返事をし、このチャレンジを受けて立つことにいたしました。しかし、一つ問題がありました。バートン会長の年度は「ファーストクラス」でしたが、私の年度は何と呼べばいいのでしょうか。「セカンドクラスになってください」とお願いするわけにはいきません。「セカンドクラス」になりたい人などいません。

そこで、ファーストクラスならぬ「ベストクラス(最高の同期)」となって、今年度の記録、750,000ドルを塗り替えていただけるよう、皆さんのご協力をぜひお願いしたいと思います。

皆さん全員に、次年度ガバナーのクラスがこれまでで最高の「ベストクラス」であることを、ロータリーの世界に実証していただきたいのです。

中国の思想家、孔子の名前は聞いたことがあると思いますが、私はときどき、孔子を「世界で最初のロータリアン」と呼ぶことがあります。孔子はロータリー設立のずっと前、2千5百年前に亡くなった人物ですが、その思想はロータリーの考え方に非常に近いものがあります。彼の言葉に、次のようなものがあります

「與其抱怨,不如改變」これに相当する英語の格言は、次の言葉です。

「ただ座って暗闇を呪うよりも、ロウソクを灯したほうがいい」(It is better to light a single candle, than to sit and curse the darkness)

この言葉は、ロータリーの考え方を端的に言い表していると言えます。

世界には問題が山積みとなっており、大勢の人が助けを必要としています。

しかし、「自分にできることはない」と言って、何もせずにただ座っている人が大勢います。これでは、何もかも暗闇のままです。

しかし、ロータリーは違います。ロータリーの考え方は、孔子と同じです。ロウソクを灯すのがロータリーです。私が一本、あなたが一本。こうして、120万人全員がロウソクを灯します。力を合わせれば、世界を光で輝かせることができるのです。

私が皆さんにお願いしたいのは、まさにこのことです。すなわち、「ロータリーに輝きを」与えることです。「ロータリーに輝きを」これが私たちの年度のテーマであり、私から皆さんへのチャレンジです。

ロータリーをどう輝かせるか、ご自分のロウソクをどう灯すかは、皆さん次第です。自分が何を得意とするかは、ご自身がよくご存じのはずです。地元地域社会が何を必要としているか、どう支援できるかは、皆さんご自身のほうがお分かりになるでしょう。

ロータリーを輝かせる方法は、数多くあります。ロータリーは何か、どのような活動をしているのかを地域社会の人々に知ってもらえるよう、「ロータリーデー」を開催してくださることを願っています。奉仕活動にローターアクトやインターアクトに参加してもらい、ロータリーの新世代の若者たちがいつの日かロータリーに入会してくれるよう、彼らを導いてください。

「ロータリーに輝きを」もたらすためにできる一番重要なこと、それはおそらく、私たちが四半世紀以上にわたって取り組んでいる仕事を完遂することでしょう。

もちろん、ポリオの撲滅です。

目下の目標は、2018年までにポリオを完全に撲滅することです。これが実現したら、私たち全員にとって素晴らしいことです。しかし、私たちが闘い続け、引き続き勢いを保たなければ、この目標は達成できません。ポリオのエンドゲーム戦略計画のための資金不足を埋めなければなりません。

ポリオを撲滅すれば(必ずや撲滅は達成できます)、ロータリーが偉業を成し遂げる力を備えた組織であることが実証されるでしょう。また、ポリオの次に取り組むチャレンジのための土台が整えられるでしょう。何より重要なのは、永遠に続くプレゼントを世界に贈れるということです。

その瞬間を現実とすることは、ほかでもない私たちの責務です。

朋友の皆さん、私の望みは、力強く明々と輝くロータリーを目にすることです。

私たちが放つ輝きは、温かみがあり、思わず近づきたくなるような、その一部となりたくなるような輝きです。一人の人間に何ができるか、また、みんなで力を合わせれば何ができるかを示すものです。

「ロータリーに輝きを」これが次年度のテーマですが、これにはテーマ以上の意味があります。私たちがロータリーでどう生き、どう考え、感じ、活動するかが、この言葉に込められています。すべてのクラブ、地区、そして活動するすべての国で、日々、人々のために何ができるかを表しています。

明々とした光で「ロータリーに輝きを」与えることができるのは、ほかでもない私たち自身です。世界には思いやりある人びとがいること、より良い地域社会を築く力のある人びとがいることを、身をもって示すのです。

私たちは、暗闇の中で座っているだけではダメだと声を上げ、じっと座っている代わりに、120万人全員の力を合わせてロータリーを輝かせます。

「ロータリーに輝きを」これが私たちの仕事であり、チャレンジです。

新しいロータリー年度、私たちの年度には、ロータリーをこれまでよりもっと力強く、明々と輝かせようではありませんか。

ご清聴ありがとうございました。

経歴

ゲイリー C.K.ホアン氏は、中国の南部に生まれ、台湾で育ち、米国のイースタン・ミシガン大学を卒業した後、ニューヨーク州の保険大学でMBA取得されました。ホアン氏は、マラヤ華僑保険会社の社長を務めた後、現在は新光セキュリティー会社の名誉会長となっております。

台湾非営利連盟から台湾市民奉仕賞、台湾内務省より卓越した社会奉仕貢献賞を受賞され、2001年のロータリーの国際大会では、米国テキサス州サンアントニオ市から「名誉市長」と言う称号を贈られました。

1976年以來のロータリアンであるホアン氏は、台北ロータリークラブの会員で、地区ガバナー、RIの理事、副会長、財団管理委員、ならびにその他数多くの委員会やタスクフォースの委員ならびに委員長を歴任されました。

氏は、アジアにおけるロータリーの会員増強に多大な貢献をされたほか、ロータリーの100周年記念には、ロータリー財団管理委員として、台湾に100名の新しいメジャードナーを誕生させる目標を立てました。その結果、2005年には106名、2006年には103名のメジャードナーが生まれ、当時の年次プログラム基金に200万米ドルを超える寄付を集めたことに成功しました。

ビジネスとロータリーでの経験をつづった著書『Finding Solutions, Not Excuses』を出版し、RI超我の奉仕賞、会長賞、ロータリー財団功労表彰状と特別功労賞を受賞されたホアン氏は、コリーナ夫人との間に、息子さんが1人、娘さんが2人おられ、全員がロータリー財団のメジャードナーです。



ゲイリー C. K. ホアン 夫妻



国際ロータリー第2760地区
2014-15年度ガバナー

こんどう ゆうすけ
近藤 雄亮

生 年 月 日 1947年（昭和22年）9月20日
所 属 ク ラ ブ 名古屋瑞穂ロータリークラブ
職 業 分 類 電磁応用製品製造
勤 務 先 ・ 役 職 三明電機株式会社 代表取締役会長
所 在 地 〒467-0863 名古屋市瑞穂区牛巻町 6-10

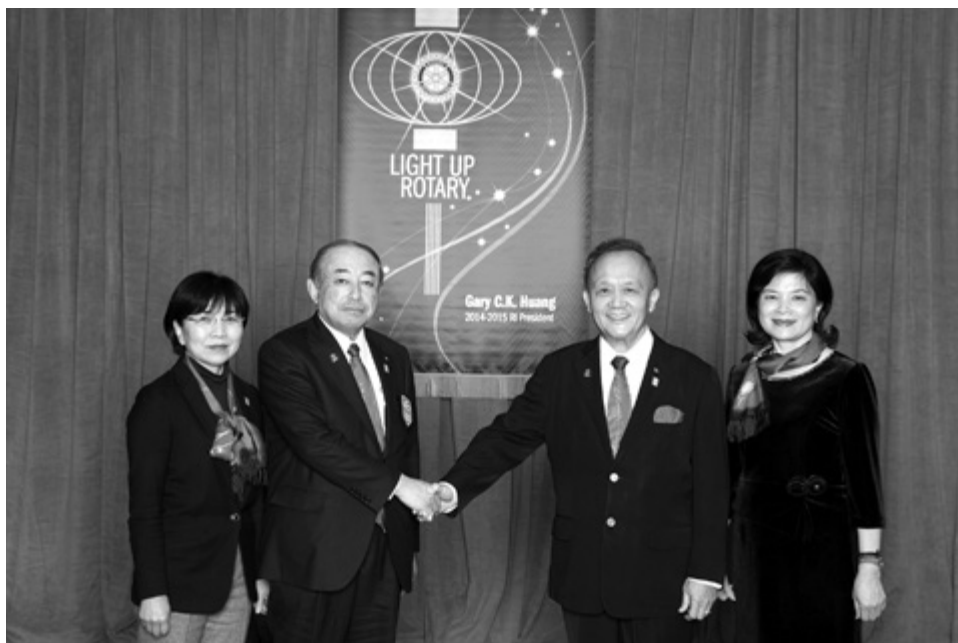
ロータリー歴

1981年10月 名古屋瑞穂ロータリークラブ入会
1991-92年 クラブ幹事
2001-02年 地区ローターアクト委員長
2002-03年 クラブ会長
2008-09年 西名古屋分区 ガバナー補佐
2012年 ガバナーノミニー
2013年 ガバナーエレクト

経 歴

1970年 名古屋工業大学電気工学科 卒業
1972年 名古屋工業大学電気工学科修士課程 修了
1976年 三明電機株式会社 取締役 就任
1980年 三明電機株式会社 代表取締役社長 就任
2013年 三明電機株式会社 代表取締役会長 就任

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
米山功労者



地区方針

集まろう・語ろう・楽しもう

地区行動指針

- ・行事への積極的参加
- ・多様性の再認識
- ・奉仕の理想と実践
- ・会員増強

行事への積極的参加

ロータリーの行事は色々な人達との出会いの場を提供してくれます。

ある時はその主役となり、また、ある時は黒子となって、自分を感動させるミラクルな出来事との遭遇、自分の存在感・価値観の気持ちを高揚させる為に自分を導いてくれる人との出会いなど、自分の人生哲学を形成する絶好の機会を与えてくれるのがロータリーでありますし、ロータリーの行事であります。

多様性の再認識

ロータリーの基盤の一つが多様性だと思います。クラブは1業種1人の会員で構成するというのがロータリーの始まりでありました。ロータリーの会員として選ばれた人がその業界を代表するという考え方があります。

業種・年齢・性別・宗教・思想など色々な人達の集まりであります。

色々な人がいるという事は自分が話をし、感動する出会いが沢山あるということです。

奉仕の理想と実践

ロータリーは奉仕の理想に集った職業人の集まりであります。どんな些細な事からでもよいので奉仕への気持ちの高揚をしていきたいと思えます。RIは地域社会に密着した奉仕活動を奨励しています。具体的には、ロータリー財団の地区補助金やグローバル補助金を活用して奉仕活動を進めたいと思えます。

次に、ロータリーが、ほぼ、30年に亘って夢を追い続け、もう一步で夢が現実になろうとしているポリオ撲滅活動であります。インドでは2014年1月13日をもってポリオ終息宣言(3ヵ年発症例なし)を行いました。あと少しであります。是非関心をもって頂きたいと思えます。

もう一つは、ロータリープログラムでは極めて重要である新世代関連プログラムに関心を持ち、その意識高揚を図ることあります。関連する委員会の中に、財団奨学、

平和フェローシップ、米山記念奨学、青少年奉仕（インターアクト・ローターアクト・RYLA・青少年交換）などのプログラムがあります。

私は国際奉仕・社会奉仕・青少年奉仕・ロータリー財団・米山記念奨学の各委員会の縦割り組織に横串をさし、一体感を持った組織の横断的連携活動をすることによって、活発な奉仕活動をすることができ、各クラブ、および地区の活性化に繋がり、ロータリーに輝きを与えるものと信じます。地区行事としてロータリーデーを開催いたします。是非、他の委員会をよく理解して頂き、ロータリーデーを通じチームプレーができる地区になることを期待します。

会員増強

ロータリーが組織体である以上、これは永遠のテーマであります。

会員増強の中身としまして

①新入会員の確保 ② 会員の維持 ③ 会員の強化

があります。新入会員の確保については多様性を考え職業分類の未充填分野を埋める努力をしなければなりません。また、会員の維持・強化に関して、当地区は RLI 方式の研修会や地区ロータリー研究会を熱心に行っております。

意外とロータリーについて理解されていないことが多くあると思います。

ロータリーの良いところや、今まで議論になった事をロータリーの歴史に学ぶことにより情報量が豊富になり、自分のロータリーに対する考え方に味がつき、楽しさが増し、美味しい実をつけるのであります。つまり維持・強化に繋がり、ロータリーに輝きを与えることになります。

私の考え方

今、ロータリーは過去どんな風だったかを歴史に学び、現在どの様になっているかを、しっかり見据え、そして将来どのように成って行くのか、あるいは、どの様にしていくのかを考える大事な変化点にあります。

ポール・ハリスの言葉

「ロータリーがしかるべき運命を切り開くには、私たちは常に進化し、時には革命的にならなければなりません」

これは地球上生物の進化の過程において突然大きな変化（突然変異）が起き、急速に高等生物へと進化していったのと同様だと思えます。

そして、RI が現在のロータリー変革期における危機感から打ち出したのが DLP , CLP , RI 戦略計画、ロータリー財団の未来の夢計画であります。

RI 戦略計画

実践項目

クラブのサポートと強化
人道的奉仕の重点化と増加
公共イメージと認知度の向上
+

基本理念

中核的価値観 (奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ)

奉仕 親睦	・・・	これが車の両輪である	：奉仕の理想
多様性 寛容の精神	・・・	これが車そのものである	：ロータリーの構成基盤
高潔性 道徳心	・・・	これが車の運転姿勢である	：ロータリアン
リーダーシップ 信頼	・・・	これが車のエンジン・推進力である	：奉仕の実践

- ・親睦は何時どうして生まれるか : 集まって仲良く語り合い、お互いを知り合った時
- ・寛容の精神は何時どうして生まれるか : 色々経験をつみ、人の意見に対し真摯に耳を傾けることができるようになった時
- ・道徳心は何時どうして生まれるか : 社会における自分の存在意義を理解した時
- ・信頼は何時どうして生まれるか : しっかりした知識を持ち、状況判断ができその言動が相手に心底認められた時

高潔性

ロータリーの基本理念からすると高潔性はロータリアンが身につける当たり前のことである。元々ロータリーは道徳心の上に立って成り立っているものであって、法律上問題がなければ何をやっても良いというものではない。

リーダーシップ

過去を知り現在の状況判断がしっかり出来、未来を見据え自分のやる気を言葉に表し、行動で見せ皆から如何に共感を得るかということである。これはお互いの強い信頼関係の上に成り立つものである。

ロータリー財団の未来の夢計画

ロータリー財団の未来の夢計画は“財団は私たちのもの”ということを強調しているものであります。ロータリー財団をもっと理解し、奉仕の理想の実現の為に大いに活用しましょう。ロータリー財団への寄付やロータリー財団の資金活用に対して、目標を立て実現することによりロータリーに輝きを与えましょう。

私の思い

ロータリーには元々大きな柱が2本あった。

1：出席

2：一業種一人の会員制

これがロータリーに於ける不易流行の不易の部分だと私は思っています。

火山がその後の環境変化によって人が見える部分が如何に形を変えようとも、地下深くエネルギーを蓄えているマグマは地下を脈々と流れる煮えたぎった溶岩流となり人の見えるところで新しい形のものを創造する。地下を流れるロータリーエネルギーが、その時々に出くわす環境によって新しい形のものを作るが、このエネルギーの元は決して変わることはないものだとは私は信じます。

もう一度1960年代に起こったロータリーマグマ活動が、再度力強く活動をし熱き溶岩流が流れ多様な模様を作り出すことを切望します。

地区会員全員熱くなり、ロータリーに輝きを与えましょう。

I believe that Gentleness from Loneliness and Sympathy must be brought, in other words Fellowship from Loneliness and the Ideal of Service must be sprang in our heart.

寂しさから優しさが生まれ、そして思いやりが育まれる。言い換えれば、寂しさから親睦・友情が生まれ、そして奉仕の理想が湧き上がると信じます。

Let's get together , talk together face to face and enjoy Rotary

さあ集まろう 語ろう そして楽しもう

地区審議会及び立法案審議委員会について

【構成員】について

<地区審議会>

地区所属全クラブ会長

(但し、会長が出席不可の場合は、議決権を委任された副会長または幹事の代理出席を認める。)

<立法案審議委員会>

ガバナー (近藤 雄亮)

代表議員 (岡部 快圓)

直前代表議員 (片山 主水)

補欠議員 (ガバナー指名) (田嶋 好博)

ガバナーエレクト (加藤 陽一)

地区幹事 (高須 洋志)

次期地区幹事 (大竹 一義)

【スケジュール】について

- ・立法案提出依頼書 2014年7月 1日(火)付で地区内83クラブへ送付
2014年8月31日(日)締め切り

- ・立法案審議委員会

第1回 2014年7月12日(土) 13:00～14:30 名鉄グランドホテル

第2回 2014年9月13日(土) ” ”

第3回 2014年10月6日(月) 15:30～17:00 ガバナー事務所会議室

- ・地区審議会 2014年11月8日(土) 13:30～15:30 名鉄ニューグランドホテル

2014-15年度ガバナー賞

1.クラブ単位でのロータリーデーの実施クラブ

2.会員数、純増3%以上達成クラブ

2014年7月1日会員数比較

3.ロータリー米山記念奨学会への寄付額が会員1人平均

20,000円以上達成クラブ

どれか一つを達成したクラブ

期間は2014年7月1日より2015年3月31日まで

※注

- 1.ロータリーデーとは、ロータリアン・ロータリーファミリー・一般の人が一緒に行う地域密着型のイベントを行う日
- 2.純増3%の小数点以下は切り上げる
- 3.ロータリー米山記念奨学会への寄付額とは、普通寄付と特別寄付の合計

お願いすること

1. R I 会長賞への挑戦
2. 地区ロータリーデーの実施への協力
日程は 2014 年 11 月 1 日（土）・2 日（日）・3 日（月）
3. 第 2760 地区内クラブより立法案を提出する
4. 7 月 1 日の会員数に対して 3%以上の会員の純増
5. シドニー国際大会前までに、会長エレクトのロータリー財団への寄付をお願いします
6. サンパウロ国際大会への参加



RI 第 2760 地区 2014-15 年度 ガバナー
近藤 雄亮

国際ロータリー第 2760 地区 クラブ数および会員数の推移

